【主催者挨拶】

中島 一夫

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、今年の5月8日に「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。これまで演奏活動に様々な制約がありましたが、今後はかなりゆるやかになると思われます。地域の行事や病院・福祉施設等からの演奏依頼も徐々に増えてくるのではないでしょうか。

清水と私はこのハーモニカを始めて2年目ぐらいのときから、平均すると週に1度の割合で慰問演奏を行ってきました。一美塾の教室が増えてからはさすがに回数は減りましたが、あの頃を振り返ると感慨深いものがあります。当時、清水はもっぱら営業担当(施設等への売り込み、営利目的ではありません。すべてボランティアです。)で、私は音響機材の運搬担当とそれぞれ役割分担をしながらやってきました。訪問した先々で歓迎を受け演奏を楽しんでいただいたことは、私たちの生涯の財産です。

これから皆さんも気の合った仲間同士で積極的に演奏活動を始めませんか。レパートリーが2~3曲あれば十分です。4人のグループであれば全体で約10曲。途中で話を入れながらゆっくり進めていけば1時間は十分に持ちます。ハーモニカは人の心の奥深くに響く楽器です。この楽器を活かさない手はありません。今までの人生で味わったことのない喜びを得ること間違いありません。生涯現役を目指して、お互いに頑張りましょう!!

清水 由美

今回の発表会には私たち2人を除き53名の方が参加されました。曲数は70曲を超えます。これまでの最多記録です。

さて残念なことですが、龍田教室の大野澄江さんが一昨年の12月に旅立たれました。大野さんとの出会いは今から20年以上も前のこと、徳永延生先生主催の発表会でした。一美塾の発表会に最後に参加されたのが、2017年12月の第14回発表会でした。クロマティックハーモニカの普及に情熱を注いでおられた大野さん、もっともっとハーモニカを普及させたかったに違いありません。今日の発表会に、大野さんのご友人で大阪から横山利幸さんが駆けつけてくださいました。本当に有り難うございます。

大野さん!一美塾はこれから生徒さんと共に、あなたの遺志をしっかりと受け継いでいきますので、天国で見守っていてください!

クロマティックハーモニカとは?

ドイツ生まれの楽器で透明感のある伸びやかな音色が特長です。4オクターブの音域があり、半音階が出せるのでこれ1本であらゆる調の演奏が可能です。 ビブラートやベンドなどの奏法を駆使すれば表現力豊かな演奏ができます。

地区	教室名	レッスン日	場所
大牟田市	音楽サロンチャント ※個人レッスンは随時	第2・4水曜日 (10:30~12:00)	大牟田市ゆめタウン前(東新町バス停前)
北九州市	北九州教室 (カルチャーセンター小倉駅前校)	第1・3水曜日 (14:00~15:30)	セントシティ 1 1 階 (JR 小倉駅より徒歩 3 分)
福岡市	福岡教室(TNC 文化サークル)	第2・4土曜日 (13:15~14:45)	十八ビル2階 (福岡市中央区渡辺通・西鉄薬院駅より 徒歩5分)
筑紫野市	筑紫野教室(TNC 文化サークル)	第2・4火曜日 (10:30~12:00)	筑紫野ベレッサB1階 (JR原田駅より車で2分)
久留米市	久留米教室(TNC 文化サークル)	第1・3土曜日 (14:00~15:30)	リベール6階(西鉄久留米駅前)
	大善寺教室	月 2 回(不定期) (18:00~19:30)	エディオン大善寺電器内
佐賀市	佐賀教室	第1・3火曜日 (14:00~15:30)	カフェ・ブラッサンス (むつごろう広場横)
熊本市	龍田教室	第2・4金曜日 (14:00~15:30)	龍田公民館(武蔵塚公園横)
荒尾市	荒尾教室	第2・4水曜日 (19:00~20:30)	働く女性の家工ポック荒尾
玉名市	岱明教室	第2月曜日 (13:00~16:00)	岱明町公民館

